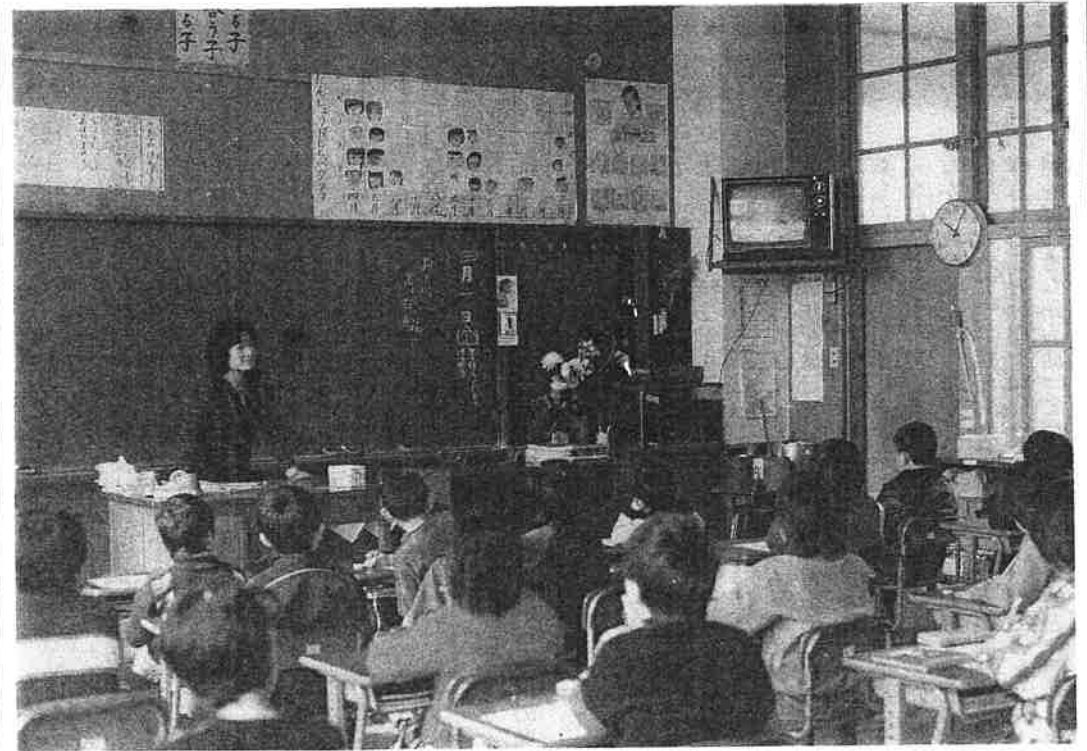


福竜丸だより

都立・第五福竜丸展示館ニュース

(財) 第五福竜丸平和協会
〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494



マグロ船は一、海は一、魚たちは一、だいじょうぶ
だろうか (保戸島小学校の平和学習。1985.3.1)

まっ白ぶねくんへ
まっ白ぶねくん「おーいまっ白ぶね」の話をきいたよ。いろいろなめに、あったね。仲よしのいそしぎくんや久保山さんがしんで、まっ白ぶねくん一人ぼっちになっただけ、ゆめの島でいろいろな人にお話するんだね。とっても、大きなゆめだね。私もいつか、ゆめの島にいるまっ白ぶねくんの話を聞きたいな。どんな様子だったか一番してののは、まっ白ぶねくんしかいないと思うよ。でも、水をばくだんにやられて、おんぼろになっただけまっ白ぶねくんをおおしてくれたのは、ケンぼうだったね。まっ白ぶねくんは、水をばくだんがおきる前は、元気な久保山さんたちをのせていたんだね。もう、走れなくてがっかりしないけど、いつか、まっ白ぶねくんは一人、お話を聞きにくる人が多くなると思うよ。まっ白ぶねくんは一人、さみしくない？私もし一人になっただけ、こわくて泣いているだろうよ。ゆうきがあるね、まっ白ぶねくん。私もそこについてみたい。いつか、まっ白ぶねくんについて、走ってみたい。いつかのまっ白ぶねくん。またあおうね。さようならまっ白ぶねくん。
八分県津久見市保戸島小学校
三年一組 大島奈穂

来館者の 声から

家族で見学し、平和を守る決意を新たにしました(岩手県紫波郡紫波町 菅野宗二)。

わたしは「どうしてせんそうなんか、するんだろなあ」と思いました。だって、せんそうは人のいのちをさらっていくだけだからです。わたしは人のいのちをうばう、せんそうがにくくてたまらなくなりました。できたら、わたしの力でせんそうをとめたいです。わたしはあそこのしゃしんをみたとき、『しまいかおはけしようをしていてうつくしかった』と書いてあったのをよむと、きつと二人とも、へいわをいのりながらしんだんだと思います(つちたなゆみこ、八才)。

何年ぶりかで夢の島を訪れ、展示館を見学しました。今まで新聞で見ることで、テレビ・ラジオで聞くこと、あっさり見聞きしていたことが信じられません。米国、ソ連の核保有数量、基地……の何んと沢山あることかと驚かされました。表や写真を見て歩きながら、身体がふるえてきました。もっと眼を開けて、もっと耳をすまして見、聞きしなければと痛感しました(神奈川県綾瀬市、御代川美和子)。

中学校修学旅行のコースで一番見たかった見学場所。いつも勉強していた原爆のおそろしさを初めて見た。この船驚ろくことばかり。館長さんの説明でよくわかり、本当にこれから平和の日本、このようないことがないように。
* 思い出の修学旅行となりました(山形県高島町立第二中、宮曾根史生)。
* 四十年の四月十日に母が亡くなりました。兵隊に行った父の留守に三四才でした。母の年より十六才上になりました。生きることの大切さを考えながら、何より平和で幸福でなければと思います。それなりにこのみんなが生きているの、たった一つが一番大きな願いをぶちこわしてしまおう原子爆弾を核兵器を、いや武器と名のつくものを地球の上から無くしたいと思いたい。もう一度、家族を連れて、来たいと思います(長野県から山本みゆき)。
* 水爆はひどい。みんなの協力で第五福竜丸を永久保存して下さい(神奈川県伊勢原市 松島由到)。
* 核兵器の全面禁止をいままこそ、強く要望する(山形県大江中)。
* 六月十日に開館九周年の見学会・パーティ
* 六月十日は第五福竜丸展示館の開館記念日。九周年の今年は、開館以来初めて行なわれている船体の本格的修理の状況をみんなで確かめ、難工事の完成を願い、一層多くの人々に協力を訴えようと、第一部を展示館で(午前十一時集合)、終わって第二部を近くの東京サニー・サイドホテル(東陽町駅前三分)でパーティ(十二時半〜二時)という計画。みさんの御参加を心からお待ちします。

編集後記

▼これまで保戸島小学校で平和学習をすすめてこられた竹林陽子先生が四月から他の学校に移られた。残念と思う反面、今後またどのような実践をされていくのだろうか、期待したい。
▼ユーカリの木陰で休む人たち。夜光灯が完備した競技場では、遅そくまでジョギングをする人の姿が絶えない。久保山碑脇のピース(バラ)も見事な花を咲かせ始めた。緑が美しい夢の島です(は)。
●100万人参観者運動を!
85年4月来館者数 4,706名
通算1ヵ月平均来館者数 5,165名
当月1日平均来館者数 188名
通算来館者数 552,653名



「まっ白ぶねくん、がんばって」「いつか会いに行くね、まっ白ぶねくん」今年も「三・一」が過ぎ、大分県津久見市保戸島小学校の子どもたちから、まっ白ぶねへ、たくさんの手紙が送られてきた。

第五福竜丸乗組員に保戸島出身者が二人いることがわかり「地域全校集会 元第五福竜丸乗組員 高木兼重さんを迎えて」



平和な海と世界を守って

保戸島小学校 — 五年目の三・一平和学習

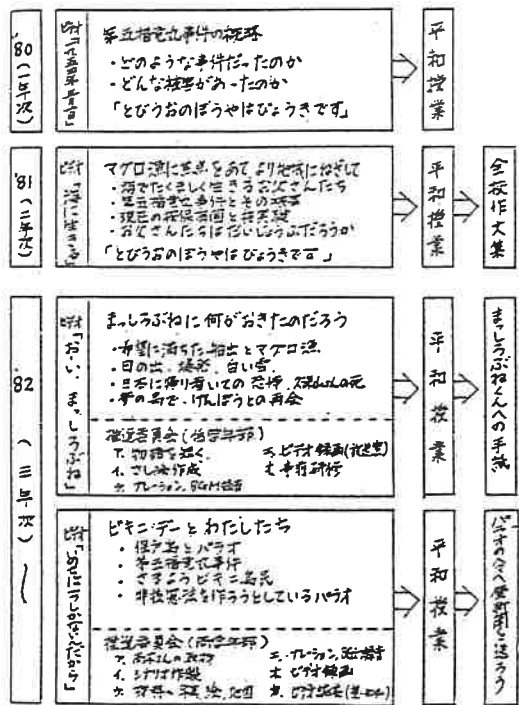
「まっ白ぶねくん、がんばって」「いつか会いに行くね、まっ白ぶねくん」今年も「三・一」が過ぎ、大分県津久見市保戸島小学校の子どもたちから、まっ白ぶねへ、たくさんの手紙が送られてきた。

第五福竜丸乗組員に保戸島出身者が二人いることがわかり「地域全校集会 元第五福竜丸乗組員 高木兼重さんを迎えて」



「海に生きる島—保戸島 昔から漁業がさかんな島でした。みなさんのお父さんやお兄さんたちは今日も遠い南の海でマグロをとっていることでしょう。海の上でたくましく生きるお父さん、お兄さん。しかし、南の海ではこんなこともありました。一九五四年三月一日「ヒビデオ・海に生きるより」保戸島には一四〇隻近いマグロ漁船があり、その多くがミクロネシア海域で操業している。生徒たちの父親の多くも漁師であり、福竜丸の事件は現在、未来につながる問題として取り組んでいる。学年毎にテーマを決め、先生方が制作したビデオをもとにすすめ、学

これまでの実践の歩み



習終了後は、低学年は「まっ白ぶねくんへ、高学年はマッシュタルの人々へ手紙を送っている。平和学習の積み重ねは「かわいそう」から「僕ならこうしたい」と生徒たちの感想を自主的なものに変えてきている。

二年越しの説得
今年の三月一日は、元第五福竜丸乗組員高木兼重さんが訪れ、全校集会で初めて子どもたちに事件のことを話した。二年越しの先生方の説得によって実現した。高木さんは生徒たちの真剣な質問に感心しながら、最後に「平和な海と

世界を守る子どもになってください。そして、大人になってもの気持ちをお忘れなさい」と。

新しく平和部担当になった若林智子先生は教師生活二年目。「これまで先輩たちの積み重ねたものをひきついでいきたい」と、抱負を話された。

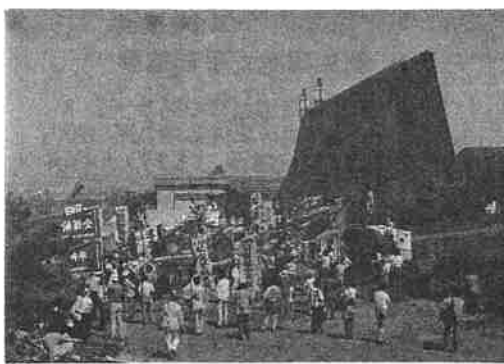


船が見守っている 統一した大会を

展示館前から平和行進出発、広島・長崎へ

五月九日、展示館前から広島・長崎にむけて平和の行進が出発した。高々と風に舞う大漁旗、満開のツツジの花、船が見守っている、統一した原水禁世大会開催へ全力を、の立看板が集会参加者を迎え、壮途を祝った。

正午から展示館を望むユーカリの繁みの前で、「85反核市民平和行進 東京—広島—長崎」の出発集会。主催者の草の実会・地婦連



日生協・日青協・被団協・日本山妙法寺ほか三百名を超える人々が結集、被爆40周年、この年にこそ被爆者援護法を実現しようなどののぼりが参加者の力強い意思を示した。日本被団協の小西悟さんが被爆者の訴えを、草の実会の斎藤鶴子さんがアピールを提案した。

感想発表会のしめくくりは、クイズ大会

団体見学が続いた五月の連休

五月晴れが続いた五月の連休、家族連れの見学でにぎわう展示館に、例年になく団体見学が相次いだ。五月三日には、和歌山県田辺市明洋中学校三年生二九九人が来館。憲法学習の一環として、平和を考えるということ、第五福竜丸の見学を憲法記念日にしたこと、「学校の近くがすぐ海なので、新しい船は見慣れているが、こんなにひどくなっているとは思わなかった」「見学した中で、一番勉強になった」「福竜丸が故郷で作られたことは印象深い」など、船を見つめながら話っていた。

午後一時半からは、展示館前の広場で「一九八五年原水爆禁止国民平和行進」が出発集会。日本原水協・平和委員会・新婦人ほか行進実行委に結集する人びと約三百人が参加。核戦争阻止・核兵器全面禁止・廃絶のための日本と世界の世論をたかめようの「スローガン」がひととき強調され、ヒロシマ・ナガサキからのアピール署名運動の成功へ全力をあげることが訴えられた。

新役員などを選出

平和協会第65回理事会

五月十三日、平和協会第65回理事会がひらかれ、前年度の決算を行なうとともに、新役員の選出、評議員の選任などを行なった(概況次号)。役員など氏名はつぎのとおり。敬称略。

理事 三宅泰雄(会長)・楡山義夫(副会長)・川崎昭一郎・斎藤鶴子・猿橋勝子・田沼肇・本多喜美。

監事 田中健介・松井康浩。

評議員 秋月辰一郎・伊東壮・石井あや子・内山尚三・小笠原英三郎・小川岩雄・小野周・草野信男・庄野直美・関屋綾子・畑敏雄・服部学・福島要一・三井周二・森滝市郎・山川新一郎・山口勇子・吉田嘉清。

顧問 壬生照順。

「と悲鳴をあげる生徒もあつたが、楽しそうに見学した。」

五月八日には、これが福竜丸だ、と、大きな歓声をあげて、山梨から小学五年生二五人が、仲良く見学。

連休後も、団体の見学は続きそうである。